「ＩＣＴ活用授業」のちょっとしたコツ

(1) 機材はキャスター付きのカートに載せる

プロジェクタや実物投影機などは、キャスターのついたカートに載せておくととても便利。授業中に使いたいと思ったとき、すぐにカートを動かして電源コードをつなげば準備が整う。また、プロジェクタとスクリーンの距離を会わせる際にも、キャスター付きだと微調整が簡単にできる。そのためにも、「プロジェクタ＋実物投影機」は教室に常時置いておきたいところだが…。

(2) 職員室に情報機器コーナーを設置する

プロジェクタや実物投影機は、確かに高価なものであるが、鍵のついた教材室等に後生大事にしまっておいたのでは、出すのが面倒でなかなか活用には結びつかない。そこで、職員室などに「情報機器コーナー」を設け、そこへ行けばプロジェクタ・実物投影機・デジカメなどの必要なものがすべて揃うように整理しておく。また、機器同士の接続に必要なコード類も「プロジェクタと実物投影機用」「プロジェクタとデジカメ用」というように種類を分けておけば、苦手な方にもわかりやすい。

(3) 無理なく広がるＩＣＴ活用研修成功のコツ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | よく見られる失敗例 | 成 功 の コ ツ |
| 研修の所要時間 | 全体研修の時間ずっと実施 | 15分程度の短い時間で小刻みに行う |
| 研修実施のタイミング | １年に１～２回 | 放課後等に週１回程度 |
| 研修に参加する範囲 | 全教員 | 必要な人だけ |
| 研修のレベル | ＩＣＴ操作の難しさのレベルで決定する | 教室での必要性に合わせて決定する |
| 研修の内容 | 「ワード」や「エクセル」の使い方などが内容の中心となる。 | 授業ですぐに使える「ＩＣＴ機器の活用方法」などが内容の中心となる |
| 研修の体制 | ＩＣＴに詳しい人が中心となる | ＩＣＴが苦手な人を含めたスタッフ |
| 研修と日常の授業 | 直結していない | 教室ですぐに使えるＩＣＴ活用が研修され、ＩＣＴ活用授業の結果を研修に持ち帰る |
| ＩＣＴの基本的な操作 | ＩＣＴ操作に詳しい人が全員に教える | 複数の知っている人が、知らない人に教える |